おひさまだより

令和６年１月５日

社会福祉法人 みどり会
みどりの森おひさま保育園

園 長　免出 智美

あけましておめでとうございます。みなさまおそろいで新しい年をお迎えのことと存じます。
本年も、職員一同、こどもたち一人ひとりを大切な存在とし成長を見守りながら、一日一日を大切に過ごしてまいりたいと思います。

１月行事予定

月	日	曜	行　事　予　定
1	5	金	保育始め お正月遊び
	9	火	個人懇談会（ひかり組以外） ２/17 まで
	11	木	鏡開き
	13	土	保護者交流会（ひかり組）
	15	月	ぴかぴかアート教室（幼児組）
	17	水	身体測定（幼児組） 園庭開放（未就園児）
	18	木	身体測定（乳児組）
	19	金	雪遊び（ひかり組）
	20	土	保護者交流会（乳児組）
	23	火	リズム会リハーサル（０・１歳児）
	24	水	リズム会リハーサル（２・３歳児）
	25	木	リズム会リハーサル（４・５歳児）
	26	金	雪遊び予備日（ひかり組）
	31	水	リズム会全体リハーサル（全園児）
お弁当の日：13 日、27 日　※変更の場合あり			

日本の伝統行事（お正月に向けて）

社会の変化の中で、正月の文化も、継承されなくなってきています。餅つきや鏡開き、門松作りなどの伝統文化を園生活の中で経験できるよう大切に取り組んでいきます。

うさぎ組保護者交流会

子ども達の成長を保護者の方に見ていただき、子育てについて語り合ったり、日頃の遊びを親子で楽しんでいただいたりと素敵な時間となりました。
お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

毎日、取り組んでいるリズムは、子どもの発達において大事な力を育てる動きの一つです。２月のリズム会では、リズム運動を通してお子さまの成長を見ていただければと思います

【幼児期の運動遊びが生涯の健康を左右する】

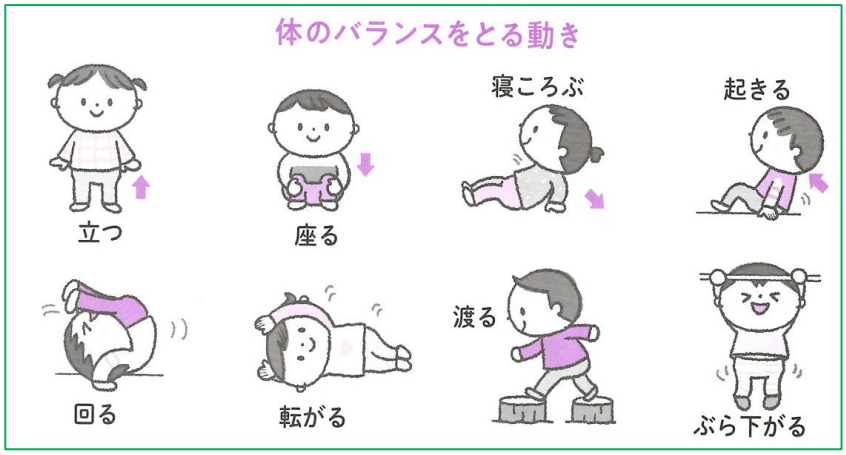
社会変化によって、一緒に遊ぶ「仲間」や「空間」「時間」の減少、そして昨今ではコロナ禍の影響もあって日常的に運動をしない子、運動嫌いの子が増えています。文部科学省の「幼児期運動指針」でも毎日合計 60 分以上体を動かすことが望ましいとされています。幼児期に外遊びや体を動かす遊びが好きな子は、小学校へ行っても体を動かすことが楽しくて、やればやるほど能力が上がっていきます。運動遊びの目的は未来のアスリートを育てることではなく「体を動かすのが好き、楽しい」と思う子を増やすこと。体を動かす経験は、その子の生涯の健康を左右する、人生にとっての大きな価値のあることなのです。

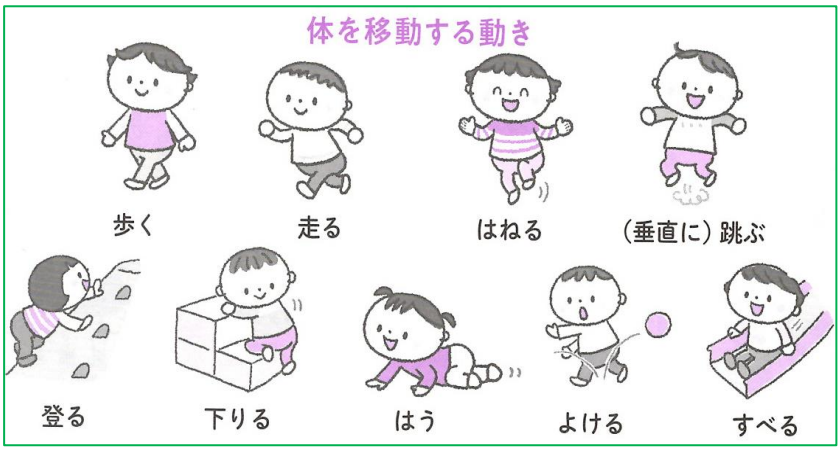
【幼児期は運動ではなく動きの種類を増やす時期】

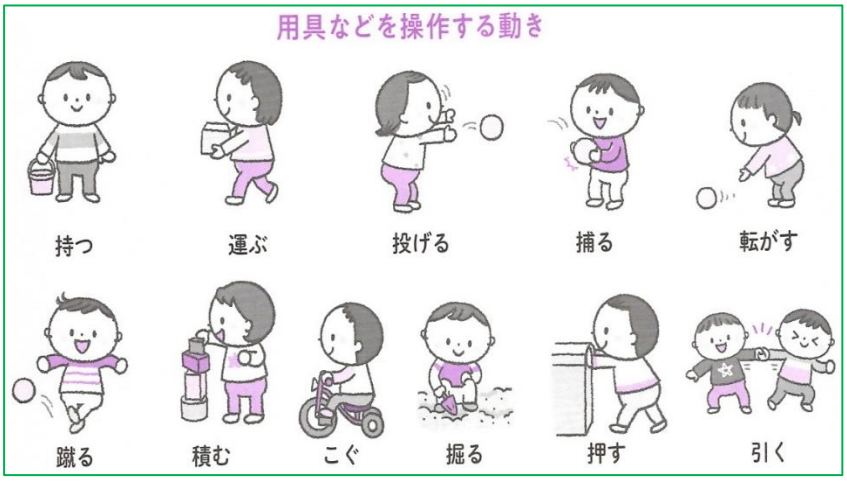
胎児期から始まる運動発達は、１歳児までが「反射的な運動」の段階、1～3 歳頃までが「初歩的な運動」の発達で、４歳児以上になると「基礎的な運動」の段階、そして小学校入学以降に「専門的な運動」の段階が始まり、そこで培われた運動機能や能力は生涯にわたって日常生活やレクレーション、競技スポーツに利用されていきます。乳幼児期から小学校低学年は、体の特定の部位をつかってするスポーツではなく、体を動かす様々な動きを遊びの中で経験し動きの種類を増やしていくことがとても大事です。乳幼児期の運動能力は持って生まれた個人の能力よりも、日常的な環境やかかわりが子どもの運動能力に大きく影響することがわかってきました。

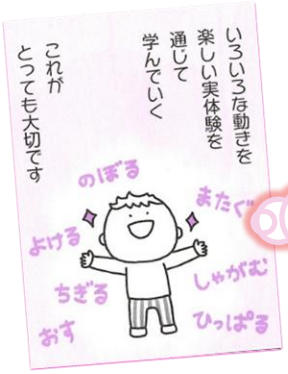
～参考　明治学院大学心理学部教育発達学科教授　松嵜洋子著～

幼児期に経験する基本的な動き









「泥・砂遊び」「水遊び」「ボール遊び」「斜面上り」など面白い遊びを楽しみながらどんどんやっていくことで、生活や運動に必要な動きや筋肉を身につけていきます。また、料理や片付け、雑巾がけなど日常の動きをすることでも、多様な動きと、自分の力をコントロールする方法などを学ぶことができます。